昭和医科大学江東豊洲病院だより

２０２６年１１月号　　第１５１号

巻頭言

救急診療科 教授 / 佐々木（ささき） 純（じゅん）



今年は台風が多く発生しており、各地で水害が発生しています。先日、千葉県で発生した水害では、交通の遮断や家屋の浸水が発生し、亡くなられた方もいます。近年の異常気象により、さまざまな災害が発生しています。江東区内も荒川や隅田川などの河川、東京湾に囲まれており、一部の地域には、満潮時の海面より低い海抜ゼロメートル地帯もあります。洪水や内水氾濫などの水害や地震などにも、常に備えておかなければなりません。

当院では、さまざまな災害に備え、院内の整備や訓練などを行っています。建物は免震構造であり、非常用発電機や、地下への浸水を防ぐ止水板なども備えています。救急センターでは、災害発生時に中心となって活動できるよう、院内の体制を整備するとともに、院外で活動する DMAT（災害派遣医療チーム）への参加や訓練を行っています。

災害医療で行われるトリアージとは、限りある医療資源の中で、傷病者の緊急度や重症度に応じて治療や搬送の優先順位を決めていく方法ですが、救急センターでは通常時にも行われていることをご存じでしょうか。受診した患者さんの症状を迅速に評価し、診療の優先順位を決定しています。

当院の救急センターでは、脳血管センター、循環器センター、消化器センター、周産期センター、こどもセンターや各診療科と連携しながら、診察・治療を行っており、救急車からの搬送要請や各医療機関から紹介された患者さんなどに、24 時間対応しています。

開院以来 10 年を超え、救急車の受け入れ件数は年間 5,000 台以上に増えてきています。また、この地域の特徴として、羽田空港や客船ターミナルが近くにあり、お台場や有明などでのコンサートやイベント会場、豊洲市場などには、日本全国だけではなく海外から訪れる方々も多く、急病やけがなども増えています。

今後も地域の中核病院として、地域の皆さまや医療機関などからのご依頼に応えられるよう、救急診療を行ってまいります。よろしくお願いいたします。



第１５１号のトピックス

- 巻頭言（救急診療科）
- 初年次体験実習の学生を受け入れました
- 第２３回公開講座開催報告
- 災害時対応について研修を行いました
- 医療トピックス掲載について
- 創立記念日休診のお知らせ
- ご意見・ご要望
- 編集後記

Pick up

初年次体験実習の学生を受け入れました



富士吉田キャンパスの本学医・歯・薬・保健医療学部の１年生が実習の一環として、当院を見学し、学びを深めました。

この初年次体験実習は、学生たちが早期から実際の医療現場を肌で感じ、医療人としての自覚を育むことを目的に、期間中に約 100 名の学生を受け入れています。

日々の診療や研究にとどまらず、未来の医療の発展を担う次世代の医療人育成に努めてまいります。

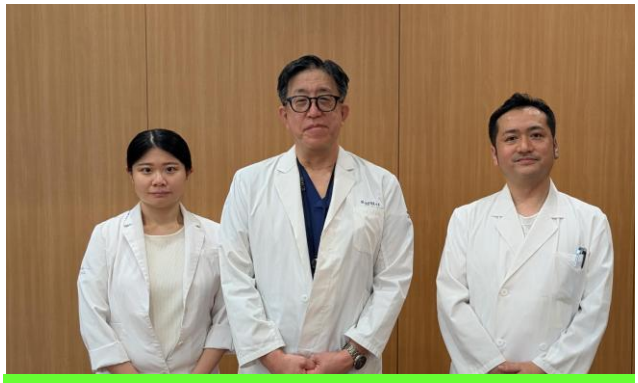
Report

第２３回公開講座開催報告

１０月１２日（月・祝）、第２３回公開講座を開催しました。「あなたのアイを見つめなおす ～大切な目と長く寄り添うために～ 」というテーマで、第１部では、「加齢と眼」の演題で眼科・藤川穂奈美助教が加齢に伴う３つの眼科疾患である白内障、緑内障、加齢黄斑変性について、各疾患の特徴、症状、治療法について講演しました。第２部では、「目のセルフチェックとセルフケア ～目の健康寿命をのばそう～ 」というテーマで、視能訓練士・園部大輔講師が目の衰弱である「アイフレイル」を防ぎ、目の健康寿命を延ばすことの大切さと、その具体的な対策について講演しました。

受講された方からは、「説明が非常に分かりやすく、いつも満足している」、「健康に歳を重ねるための素晴らしい取り組みである」といった感想がありました。一方で、今回は早い段階で申込数が定員に達したため、参加できなかった方も多くいらっしゃいました。当日の講演内容は後日ホームページで公開する予定です。来場できなかった方はもちろん、すでに受講済みの方もぜひご覧ください。

次回の開催は来年の春頃を予定していますので、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



（左から）　眼科 藤川助教、
大槻公開講座委員長、視能訓練士 園部講師



講演中の会場の様子

Report

災害時対応について研修を行いました

10月16日（金）に、当院臨床研修医向けのセミナーの一環で、災害時の対応についての勉強会を行いました。災害拠点病院としての当院の役割や、発災後の患者の受け入れについて学びました。また、トリアージタグを用いて、患者の治療および搬送の優先順位を決める練習をしました。

11月5日（木）には当院で防災訓練を開催いたします。主に地震発生後の災害対策本部の立ち上げ、トリアージの初動訓練を行う予定です。今後も院内の勉強会や訓練を通じて、当院職員の災害への対応力を強化していけるように日々努めてまいります。





トリアージタグの書き方を学ぶ臨床研修医

Pick up

医療トピックス掲載について

昭和医科大学江東豊洲病院のホームページに掲載中の「医療トピックス」では、各診療科が実践する特徴的な治療や、導入されている最先端の検査システム等について詳しく紹介しております。

掲載内容（一部抜粋）

- 無痛分娩について（麻酔科）
- 地域で行う薬物治療 ～保険薬局との連携（薬剤部）
- 超音波検査について（臨床検査室）
- 分娩後の直腸膣瘻・括約筋不全（消化器外科）
- 食物アレルギーについて（小児内科）など



ぜひホームページよりご覧ください！

↑
こちらから閲覧可能です

https://x.gd/wA3ix

Pick up

創立記念日休診のお知らせ

2026 年 11 月 15 日（日）は、昭和医科大学創立記念日のため休診となります。あらかじめご了承下さい。



ご意見･ご要望

感謝	回答
8A のナースステーションの皆さんは誰に話しかけても心良く明るく対応してくださり、相談にものっていただき、私の背中を押してくださいました。本当に感謝です。この体験と御恩は一生忘れません。	心温まるお言葉をいただき、ありがとうございました。いただいた言葉を励みに、これからも患者さん、ご家族に寄り添った看護を大切にしてまいります。ご家族で穏やかに過ごされることを心より願っております。 回答：8A 病棟

編集後記

長く続いた暑さもようやく落ち着き、朝晩の空気に秋の深まりを感じる頃となりました。近年は厳しい残暑が続くことも多く、秋の心地よさを感じられる期間が少し短くなったようにも思います。澄んだ空気や色づく木々など、身近なところにある季節の移ろいを楽しみたいものです。

11 月は朝晩と日中の寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期でもあります。インフルエンザをはじめとする感染症にも、引き続き注意が必要です。忙しい時期には、自分自身の体調の変化を後回しにしてしまいがちですが、十分な休養や食事など、基本的な体調管理を大切にしたいと思います。

早いもので、今年も残すところあと 2 か月となりました。これから年末に向けて何かと慌ただしい時期を迎えます。季節の変化を感じるひとときも大切にしながら、健やかに過ごしていきたいものです。皆さまもどうぞお身体を大切にお過ごしください。

麻酔科　松野　栄莉佳



昭和医科大学
SHOWA Medical University

昭和医科大学江東豊洲病院　http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5－1－38
TEL03－6204－6000(代表)
発行責任者：横山　登　　編集責任者：大槻　克文

昭和医科大学江東豊洲病院
ホームページ